

ストップ! 地球温暖化

6月は環境月間です

地球温暖化のような世界的な問題から身近なごみ問題にいたるまで、環境問題は、私たちの日常生活から社会全体の活動のあり方にまで深くかかわっています。6月は『環境月間』です。環境のことを考えて、私たち一人ひとりのライフスタイルを見直してみませんか。

地球温暖化とは？

人類が地球で生活できるのは、二酸化炭素などの温室効果ガスによって地球が暖められ、平均気温が15℃に保たれているからです。もし、この温室効果ガスが無かったら、地球の平均気温はマイナス18℃となり、生命は存続できません。産業の発展に伴い、人類は石炭や石油などを大量に消費するようになり、大気中の二酸化炭素の量は20年前と比べ30%増加

しました。これからも人類が同じような活動を続けるとすれば、二酸化炭素の濃度は現在の2倍以上になり、地球の平均気温は21世紀末までに14℃から5.8℃も上昇するといわれています。

温室効果ガスって？

温室効果ガスには、二酸化炭素のほかメタンやフロンなどがあります。特にフロンなどの人工の化学物質は二酸化炭素より温室効果が強く、たとえ微量であっても、その影響が強く懸念されています。

京都議定書発効

現在、世界の国々が協力し、温室効果ガスを減らすための取り組みを進めています。こうした取り組みの大きな第一歩である「京都議定書」が、今年2月に発効されました。日本も議定書において、2008年(平成20年)～2012年(平成24年)の温室効果ガスの排出量を、1990年(平成2年)のレベルから6%削減することを約束しています。しかし、2003年(平成15

身近なことから実践しよう

こうした環境問題は、私たち一人ひとりに課せられた身近な問題です。環境問題を解決していくためには、毎日の暮らしのなかで私たちが環境に配慮した行動を心がけ、実践することが大切です。たとえば、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素の排出や資源の無駄使いなどを抑えるために、エネルギーの使い方を見直してみるなど、環境を守るために身近でできることを始めませんか。

二酸化炭素(CO₂)削減 6つのアクション

二酸化炭素(CO₂)削減のために、具体的な6つの行動(アクション)を提案します。

日々のちょっとしたことが積み重なれば大きな削減効果が期待できます。そのための第一歩は、あなたができることを行動に移すことです。まずは身近なところから、取り組みましょう。



冷房は28度に設定しよう

冷房の設定温度を1度控えるだけで、大きな削減効果が期待できます。家庭では、人がいない部屋のエアコンをこまめに止めることも大切です。会社などでは、設定温度を変えることは、ひとりではできません。まわりの人たちと一緒に、冷房の温度に対する意識を高めるようにしましょう。

また、日差しが当たる窓にはカーテンやブラインドをおろすことで、室温の上昇を抑えられます。また、せっかく冷やした暖めたりした空気を逃がさないように、窓やドアはきちんと

閉めましょう。エアコンのフィルターも汚れも消費電力増につながります。機器のメンテナンスにも気を使いましょう。

蛇口は1分間出しっぱなし

シャワーを1分間出しっぱなしにすると、なんと10リットルになります。頭を洗っているときなど、必要のない時にはこまめにシャワーを止めましょう。

また、風呂の残り湯を洗濯に使用したり、節水効果のあるシャワーヘッドなどの機器を導入することも効果的です。実際に使用してみると、それほど自由を感じるものではありません。

アイドリングをなくそう

停車や駐車時のアイドリングを、無意識のうちに行っているか？ 特に仕事などで車を頻繁に使用される方ほど、削減量も大きくなります。もちろんその分ガソリン代も節約に。限られた資源を、ムダなく、大切に。停車中は、エンジンをオフ。習慣づけが大切です。

過剰包装を断ろう

買い物の際には専用のバッグをひとつ用意。お出かけの際には、小さく折りたためるバッグを常に携帯しておけば、買い物袋は不要になります。コンビニでも購入した商品が少なければ、手提げ袋が必要か聞かれることがあります。こうした取り組みに積極的に応えましょう。

エレクトロ製品を 選んで買おう

新しく家電製品を買うときに、ぜひ注目して欲しいのが「省エネ性能」。エアコンや冷蔵庫などは省エネ性能の表示も普及し、購入の際の目安になっています。なかには、年間電気料が数万円単位で違うこともあり、特に古い機器を使い続けている場合、買い替えコストと電気代を比べてみると、愕然とする数字が出ることも。お財布にも、環境にも優しい省エネ製品。

コンセントをこまめに抜こう

電気製品を使用していないときに、タイマーなどのために消費される電力が待機電力。その消費量は、家庭の電力消費のなんと10%になることも。使うたびにコンセントを抜き挿しするのが面倒ならば、まずは定期的なコンセントを全部外し、次に使う時にコンセントを入れるようにしてはいかががでしょうか。ふだん使わないものほど、抜いたままの状態になるはず。

●お問い合わせ 生活環境課・環境衛生係 ☎23-1134

ストップ! 地球温暖化